

**問** 高齢者クラブの活動状況と活動補助金の内容について問う。

**答** 21団体に対して活動支援を行った。清掃活動や地域の見守り活動、いきいき百歳体操の消毒液等に活動補助金が活用されている。

**問** 家庭教育支援事業「ほっこり」の家庭訪問による成果と今後の活動について問う。

**答** 学期毎に家庭訪問をしている。コロナ禍で外出できないところ訪問を受け喜んでいただき、支援員との信頼関係も深まっている。引き続き状況を見据えながら家庭等の訪問、学校訪問に努める。

福祉課：子育てつながり支援事業、子どもの居場所づくり事業、子育て応援ナビ、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業、民生児童委員会事業、保育所施設整備事業等  
健康づくり課：妊婦健康診査費助成、新型コロナウイルスワクチン接種事業等

## 産業建設部 (地域振興課・地域整備課)

**問** 新型コロナウイルス感染症対策商品券交付事業にかかる「いきいき商品券」が、どの様に使われたかデータ分析について問う。

**答** 個人事業所に比べ量販店で多く、物産センター、医療機関、公共交通機関で使用があった。今年度も商品券交付を行っているが、事業所を増やし額面に工夫を加えている。

**問** 令和3年度のシカ・イノシシの捕獲頭数と令和元年度からの推移、また捕獲頭数を増やし被害を抑えるため次年度に向けた対策について問う。

**答** 令和3年度シカ913頭、イノシシ93頭となっている。シカについては平成30年度から増加傾向にあり、イノシシについては豚熱により減少傾向にある。次年度に向け猟友会と協議しながら個体処理施設の設置等の検討を進めているところである。

**問** 高齢化に伴い小さなゴミ袋(20ℓ)の適用や、高齢者宅への各戸収集の在り方などの検討について問う。

**答** 第3次能勢町廃棄物ごみ減量化計画の中で、今後取り組む事業として掲げている。ゴミ処理券制度の見直しは環境対策検討委員会で意見を聞き、検討を進めて行く予定である。

**問** 観光案内所(観光物産センター内)の案内件数とコロナ禍の影響、また今後の対応について問う。

**答** 案内件数は令和2年度6,912件、令和3年度6,431件で緊急事態宣言時は閉鎖していたため件数は伸びていない。ふるさと応援寄付金担当課や文化担当課とも連携し町の魅力発信に努めたい。

地域振興課：産業立地促進事業、火葬業務、地域再生可能エネルギー導入促進事業、能勢栗振興事業、耕作推進支援事業、多面的機能支払交付金事業、観光物産センター運営、観光振興事業、資源集団回収事業、新型コロナウイルス感染症対策環境整備支援事業、農業資材購入支援事業、農業委員会、認定農業者、家畜伝染予防法に関する防疫訓練、豊能郡環境施設組合等

地域整備課：浄化槽設置整備事業、し尿収集事業、排水処理計画事業、町営住宅改修事業、道路使用料、ブロック塀等撤去補助、通学路の安全対策、土砂対策事業等

## 教育委員会 (学校教育総務課・生涯学習課)

**問** 学校給食費無償化は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で行われているが、引き続き次年度も実施されたい。考えを問う。

**答** 学校給食費無償化については慎重に協議をしていくべきと考えている。現行の給食費無償化は今年度限りで、令和5年度からは法律の規定に基づいて保護者負担を前提に考えていくことになる現時点では考えている。

**問** 浄瑠璃は本町の文化財で、広く認知され貴重な観光資源である。今後の取組みについて考えを問う。

**答** 浄瑠璃は能勢の資源と考える。観光とリンクさせながら能勢町をPRしていくことが重要であると考え取り組んでいく。

次ページにつづく